

高齢社会に対応した商店街づくり支援事業

福岡県大牟田市

概要

炭鉱の閉山に伴う人口減少が続く中、高齢単身世帯の増加等により「**買い物弱者**」が日常生活に**支障**をきたし、また、**商店街等の空洞化に歯止めがかからない状況**である。そこで買い物環境についてのアンケート調査及び商店街等による出張型商店街実証実験事業等により、市内における買い物ニーズを把握し、**商店街等へのビジネスチャンスの提供と「買い物弱者」の解消**を図る。

○大牟田市

福岡県南端に位置し、かつて炭鉱のまちとして栄えたが、平成9年3月の炭鉱閉山により、基幹産業を失い、人口減少が続いており、**高齢化率29.8%**(平成23年10月)と全国の水準を上回る。

事業の内容

事業の内容

- 居住校区、年齢、生活必需品の購入先、**買い物環境の利便性及びニーズ等の調査**
→ 標本数3,000人 回答者数1,104人(回収率36.8%) ※人口124,824人(平成23年10月1日現在)
- 市内の商店街等が実施する公民館、介護保険施設等への地域住民を対象とした**出張型商店街**への取り組み及びアンケート調査
→ 公民館、福祉施設、病院等 市内15ヶ所、来場者数1,103人
- 中心地区商店街内での空き店舗を利用**したPRブースにおいて、出張型商店街実証実験事業の商品紹介、リーフレット作成 → **実施期間2ヶ月 来店者数233人 紹介リーフレット作成 5団体分 計2,500部**
- 市内11ヶ所の平日、休日の8回、9:00~18:00の歩行者通行量調査
10百万円

総事業費

ポイント

- ・市民の買い物に対する状況の調査及び実態把握
- ・商店街等組織による「出張型商店街実証実験事業」の実施
- ・中心市街地で空き店舗を活用した「出張型商店街事業」の紹介、アンテナショップの開設、リーフレット作成

・出張型商店街実証実験事業の様子



・中心市街地新規出店促進事業(改装前~改装後)



事業の成果

- 市民の買い物環境の調査 → **買い物が困難な地域の実態把握**
- 商店街等**の出張販売の**ノウハウの蓄積**及び事業を通じた**商店街組織等の組織力の強化**
- それまで交流の無かった商店街等の間において、**情報の共有と不足する業種業態の補完体制を確保**
- PRブースを**中心市街地の商店街内の空き店舗**に設置することにより、**周辺商店街との連携体制を構築**
- 商店街が**空き店舗運営のノウハウ**を習得